

3類型	農林水産物	通巻番号	4-24-011
地域資源名	伊勢茶	認定日	平成24年10月1日
地域	津市、四日市市、伊勢市、松阪市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、志摩市、菟野町、多気町、 大台町、度会町、大紀町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：伊勢茶を活用した化粧品「まごころ」シリーズの製造・販売事業

会社名：万協製薬株式会社

所在地：三重県多気郡多気町五桂1169-142

連絡先：TEL：0598-37-2088

HP：<http://www.bankyo.com>

FAX：0598-37-2089

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、三重県南勢地区で生産される「伊勢茶」の茶葉をエキス化して配合することで、従来の緑茶エキス活用商品よりも収れん作用(皮膚細胞の活性化、肌の引き締め効果)が優れた化粧品「まごころ」シリーズを開発した。
- ・本事業は、「伊勢茶」を活用し、地元関係者(農家、高校等)と連携しながら、商品開発・製造・販売を行うことを通じて、地域活性化に寄与する事業である。



【本事業商品『化粧品
“まごころ”シリーズ』】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・伊勢茶エキスは、従来の緑茶エキスに比べカフェイン量が約2倍含まれており(同社調べ)、カフェインによる収れん作用がより期待できる。
- ・「伊勢茶」を粉末ではなくエキスとして活用し、また、ヒアルロン酸やコラーゲンといった肌の保湿性を高める成分を配合し、配合量の調整を行うことで、保湿性が高く、すべすべとして塗り伸ばしやすい使用感を実現している。
- ・本事業商品シリーズは、全て24時間閉塞ヒトパッチテストを実施しており、商品品質、安全性が明確である。

◆市場性

- ・茶葉に含まれるカテキン等による美肌作用や、カフェイン、ビタミン類による肌の引き締め効果等が期待されており、茶葉を活用した化粧品が市場に受け入れられている。
- ・大手ドラッグストアのバイヤー等の市場関係者からは、地元高校生と商品開発を行ったという開発背景のストーリー性等に対して共感を得ており、取引につながっている。

◆販路

- ・現在の主力販路であるドラッグストアへの販売を継続するとともに、展示会等を通じて、全国の雑貨店等への販路開拓を進める。また、台湾・中国を中心に海外への販路開拓も進める。

地域における関係事業者等との連携

- ・三重県立相可高校、地元農家、多気町、松阪商工会広域連合、多気町商工会等と連携して事業を進める。